

目次

口絵	
序	
凡例	
総合解説	1
第一章 領主の支配	15
第一節 諸領主による村々・地域の支配	16
武家領／寺社領／錯綜した領地支配／両菅沼家固有の支配／地域支配の担い手	
第二節 年貢・諸役の賦課と徴収	43
年貢米／諸役と小物成／夫役／幕府による広域的な役賦課	
第二章 村々と地域住民	75
第一節 村政と住民構成	76
村の由緒と成り立ち／村の政治／村で起こる事件／村の記録	

第二節	村と百姓の負担……………	105
	年貢・諸役をめぐって／強制された先納金・調達金／運上金・冥加金の納入／ 村入用・郡中入用の負担	
第三節	地域間のつながり……………	130
	地域の組織／地域間の人の移動／地域の諸問題	
第三章	土地の利用・開発と災害・争論……………	151
第一節	土地の利用と争論……………	152
	海浜をめぐって／田畑をめぐって／山野をめぐって	
第二節	新田開発……………	178
	干潟の干拓／山野の開墾	
第三節	水の確保と管理……………	188
	用水施設／水論	
第四節	災害と復旧……………	198
	風水害／干害／虫害・獣害／地震／治水／荒地起こし返し	
第四章	町のしくみと政治……………	233
第一節	町のすがた……………	234
	町のかたち／町の機能	

第二節	町の暮らし	267
	さまざまな生業／町の風俗と統制	
第三節	領主と町	289
第五章	農業・手工業・商業	301
第一節	農業	302
	さまざまな農作物／里山からのめぐみ	
第二節	職人と諸稼ぎ	318
	鋳物師と鋳掛屋／鍛冶屋／醸造業	
第三節	商業	333
	茶の集荷と販売／辛灰・炭の流通／塩の売買／質屋	
第六章	山村の生業	361
第一節	林業	362
	植林と育林／山林の所有と売買／伐り出しと川狩り	
第二節	木工業・鋳業	381
	杣と木挽／粉屋と木地屋／砥石山と鉛山／温泉	
第三節	山と川のめぐみ	408

茶／椎茸／炭と辛灰／狩猟・川漁・産牛馬	
第七章 海村の生業	429
第一節 漁業	430
魚猟と運上／網元と網子	
第二節 製塩と海苔養殖	461
製塩／海苔養殖	
第三節 海難救助	466
浦高札と救助心得／破船救助	
第八章 川・海の交通・流通	473
第一節 豊川水運	474
川船と船持・船人／河岸と問屋／東上分一番所／材木の管流し・筏下し	
第二節 三河湾海運	518
湊と問屋／海上輸送と廻船	
第三節 渡船と寄せ船	535
渡船／寄せ船	

第九章	陸の交通・流通	549
第一節	東海道・本坂通	550
	東海道各宿の概要／人馬継立・休泊施設／宿場の生態	
第二節	さまごまな旅	581
	東海道の大通行とそれへの対応／旅立ち／鳳来寺道・秋葉道とその利用	
第三節	内陸運輸の展開	606
	中馬・三州馬稼ぎ／横行する抜け荷	
第十章	寺院と神社	619
第一節	寺社の運営と維持	620
	寺社の組織／寺社の相続と経営	
第二節	地域社会と寺社	660
	寺社をめぐる争論と事件／地域に根ざした諸信仰	
第十一章	人々の暮らしと社会	689
第一節	家と暮らし	690
	家格と由緒／家の永続／人々の生涯／暮らしの記録	

第二節	社会諸集団と地域社会	716
	村を訪れる宗教者や芸能者たち／差別を受ける人々と村の安全	
第三節	社会不安とその対応	728
	人々困窮の諸相／民衆のたたかい／幕末期の諸情勢／ええじゃないか	
第十二章	地域に根ざす文化	757
第一節	庶民の教育と教養	758
	教育と習練／俳諧・和歌・立花	
第二節	祭礼と娯楽	779
	神楽と田楽／能楽と村芝居／花火	
第三節	民間の医療・薬方	792
	民間の医療／薬方と薬種商	
第四節	地方知識人の学芸とネットワーク	804
	地域の観察・記録／平田派国学者の活動／学芸・海外情報の収集と交換	
解説		827
史料群解説		951
あとがき		979

目 次

執筆分担	981
資料提供者及び協力者	982
愛知県史編さん関係者名簿	984
掲載史料編年一覧	992

細目次

第一章 領主の支配

第一節 諸領主による村々・地域の支配

一 武家領

1	遠州中泉代官小野田信利郷村請取りにつき村々宛廻状写 〈寛政十二年三月〉………16	11	り東観音寺宛証文〈貞享五年三月〉………27
2	遠州中泉代官山上藤一郎着任に際し支配村々宛八か条法度写 〈天保十三年八月〉………16	12	神領二石宛行につき伊奈忠次より八名郡山吉田八幡社宛黒印 状〈慶長六年二月〉………28
3	三河国ほか幕領支配代官姓名等寛書………18	13	除地大明神領・薬師領の石高等につき八名郡名号村神主次郎 大夫より届書〈元禄六年二月〉………28
4	知行所諸法度先代の条々遵守につき桑嶋政恒より宝飯郡平地 村宛定書写〈享保八年十二月〉………20	14	田原藩三宅備後守領内寺院・神社石高書上帳〈慶応四年五月〉………28
5	日常心得等に関する海老菅沼家当主の指示につき石田役所よ り村々宛廻状写〈文政八年七月〉………20	15	三 錯綜した領地支配
6	吉田藩主代替わりに際し藩領村々宛十か条定書写 〈文化十四年十二月〉………21	16	宝飯郡長沢村地内往還掃除丁場間数等につき同郡御馬村六領 主庄屋等より届書控〈寛延三年五月〉………30
7	西尾藩郡奉行所より領内村方宛十七か条法度写 〈天保二年八月〉………22	17	渥美郡宇津江村の支配領主別石高及び家数・人数につき同村 庄屋等より届書控〈天保十年六月〉………31
8	二 寺社領	18	宝飯郡御馬村村上大膳家給分宛の同家および村上内記家の家 臣連名年貢割付状〈宝暦五年十月〉………32
9	風来寺領十九か村庄屋より法度請書提出に対し厳正申付け指 示書写〈明暦二年十月〉………25	19	宝飯郡御馬村五給旗本各家給分村方三役より五家役人宛七か 年定免請書控〈文化二年九月〉………33
10	東観音寺領渥美郡小松原村村明細書〈享保六年七月〉………27	20	早魃による御用捨米につき五給年番間部源十郎家来より宝飯 郡御馬村宛下知書〈文政四年十一月〉………34
	喜平次名田畑吉右衛門不耕作分の地主受命につき喜平次郎等よ り鈴木忠兵衛宛書状〈申十二月〉………35	21	五給旗本家で先規通り年番支配願うにつき宝飯郡市田村百姓 より五家役人宛願書控〈文久三年七月〉………34
		22	四 両菅沼家固有の支配
		23	設楽郡東杉山村のうち新城菅沼家家老両名知行分名寄帳 〈天保十二年正月〉………36
		24	家中頼みの縄・藁・小麦稗代金につき新城菅沼家役所より設 楽郡下平井村宛受取書〈卯十二月〉………38

23	従来通り交代寄合菅沼家の支配希望の旨同家知行所村々願書 下書（明治二年十二月）……………	38
24	往古に殿様出生地のため菅沼村より旗本海老菅沼家石田役所 宛年貢定免願書控（宝暦五年二月）……………	39
25	五 地域支配の担い手 割元鈴木太郎左衛門より西大平藩領宝飯郡西方村庄屋宛先納 金請取通帳（嘉永七年正月）……………	40
26	宝飯郡上之郷村半平大庄屋掃役につき松平与一右衛門家来よ り永嶋藤十郎等宛申渡書（申四月）……………	41
27	取締・年番各庄屋より伝達のため御呼び出すにつき吉田 藩役人廻状写（嘉永三年七月）……………	41
28	取締庄屋より依頼の廻状を支配組合へ発信につき八名郡橋尾 村年番庄屋宛書状（正月）……………	41
29	取締庄屋中より吉田藩領分相続講の連絡につき八名郡橋尾村 年番庄屋宛書状（三月）……………	42
30	三州両村の地代官任命に際し曲淵家家来鈴木三郎兵衛より鈴木 木善九郎宛下知書（慶応元年十月）……………	43
31	第二三節 年貢・諸役の賦課と徴収 一 年貢米 早期年貢皆済村への褒賞等につき新城菅沼家郡代役所十四カ 条定書写（寛政十三年正月）……………	43
32	荒田畑は見分吟味にて引方実施等につき新城菅沼家郡代より 設楽郡下平井村宛書付（丑四月）……………	44
33	田方検見時の十五か条規定書につき渥美郡七根村庄屋等請書 写（安永六年十月）……………	45
34	八名郡巢山村稲刈・初すり等の御検見時役割割帳 （天保十四年閏九月）……………	46
35	鳳来寺領設楽郡柿平村の物成先規通り定免につき幕府代官よ り同寺宛指示書写（元禄十二年七月）……………	47
36	幕領設楽郡粟代村宛年貢割付状（慶長十五年十二月）……………	49
37	幕領八名郡下吉田村宛年貢割付状（元和八年十一月）……………	49
38	年貢割付状を村中で拝見し割付実施につき宝飯郡長沢村庄屋 等より請書（貞享元年十二月）……………	50
39	吉田藩領八名郡橋尾村宛年貢皆済村（享保三年十二月）……………	51
40	新城町金胎寺雨乞に際し庄屋等参詣指示につき新城菅沼家役 所より触書写（文化二年七月）……………	52
41	新城町宗堅寺での虫送り祈禱に出向指示につき新城菅沼家役 所より触書写（文政八年六月）……………	52
42	二 諸役と小物成 幕領八名郡大野村宛年貢定免割付状（享保九年十一月）……………	53
43	旗本海老菅沼家知行所八名郡下吉田村大沢組分の茶間連上勘 定帳（明暦三年十月）……………	54
44	吉田藩領八名郡埴之上村宛年貢割付状（正徳三年十一月）……………	55
45	田原藩領渥美郡芦村椿実年貢元帳（天保八年十一月）……………	57
46	幕領設楽郡田峯村宛年貢割付状（延宝五年十二月）……………	58
47	幕領渥美郡石神村宛年貢割付状（延宝五年十二月）……………	59
48	大垣新田藩領渥美郡伊川津村での山年貢および磯年貢等小物 成上納命令書（正徳元年十一月）……………	61
49	三 夫役 交代寄合菅沼家領設楽郡西郷組村々等二十一町村での足軽は か夫役割割当につき覚帳（元文三年三月）……………	61

細目次

50	新城菅沼家当主大坂在番役のため足軽等宛人の御用につき同家役所より触書写〈寛政五年六月〉……………	63	第二章 村々と地域住民
51	当暮暇の足軽・中間十五名の代人差出し命令につき海老菅沼家役所より廻状〈十一月〉……………	63	第一節 村政と住民構成
52	江戸勤め中間差出し命令につき吉田藩御蔵年番庄屋より同藩領村々宛廻状〈閏十一月〉……………	64	一 村の由緒と成り立ち
53	陣屋附きの夫役等旗本本多左内知行所渥美郡村松村の村役書上帳控〈万延二年正月〉……………	64	宝飯郡森村成り立ちの由来および百姓高役勤め方につき佐竹刑部覚書〈宝永五年〉……………
54	高百石に金二分ずつの式夫米賦課等につき設楽郡石田村ほか六か村宛七か条法度写〈寛文八年五月〉……………	65	上野田・下野田村分け由来記万留書〈抄〉〈享保十年四月〉……………
55	新城菅沼家知行所新城町ほか二十一か村分の式夫金請取書	65	海老菅沼家知行所設楽郡上菅沼・下菅沼両村和合取り替わり手形控〈元治二年四月〉……………
	〈貞享二年十二月〉……………	66	二 村の政治
56	四 幕府による広域的な役賦課	64	村方にて名主後役勤め不可能につき設楽郡池場村惣百姓中より赤坂役所宛願書〈安永三年二月〉……………
57	東海道御油宿の助郷命令につき道中奉行より同宿・助郷二十五か村宛助郷帳〈享保十年十一月〉……………	65	設楽郡粟代村三役を組別年番にて勤役につき惣村中取決め書
58	東海道赤坂宿定助郷宝飯郡御馬村の村高・家数・人数書上帳控〈嘉永三年八月〉……………	66	八名郡能登瀬村名主取決め議定一札〈天保十四年十月〉……………
59	東海道二川宿の助郷差村から除外につき設楽郡小田村より嘆願書控〈慶応元年九月〉……………	67	八名郡名号村名主役目相続金百姓銘々借用証文〈抄〉
60	安倍川等川通普請入用金の国役賦課につき新城菅沼家家来洩垂利助より触書写〈享保十三年十一月〉……………	68	八名郡能登瀬村村寄合等規定書〈天保十二年十月〉……………
	琉球人参府に際する国役金の徴取につき新城菅沼家役所より同家知行所宛触書控〈天保十四年七月〉……………	69	設楽郡清水村村役ならびに公用役勤め方規定書
		70	八名郡能登瀬村村寄合等規定書〈天保十二年十月〉……………
		71	設楽郡清水村村役ならびに公用役勤め方規定書
		72	渥美郡畠村秋葉社木盗伐犯人割り出しの入札および村八分申し渡し届書控〈寛政元年二月〉……………
		73	三 村で起る事件
		74	出火につき設楽郡池場村より赤坂役所宛届書
		75	〈安永四年十二月〉……………

72	博奕一件につき奉行所宛請書控(文化十五年二月)……………	91
73	水死人につき設楽郡池場村より赤坂役所宛届書控	
	(安政二年二月)……………	92
74	盗難につき宝飯郡東上村彈右衛門より赤坂役所宛届書控	
	(慶応三年十月)……………	93
75	八名郡橋尾村若者難題申し掛けにつき同村庄三郎より吉田藩	
	宝飯組役所宛願書(亥八月)……………	94
76	四 村の記録	
	設楽郡下津具南方村重五郎諸掛り記録覚(抄)	
	(文久元年六月)……………	96
第二節 村と百姓の負担		
一 年貢・諸役をめぐって		
77	幕領宝飯郡長者平村宛年貢割付状(元和五年十一月)……………	105
78	安永五年年貢割付状・皆済目録拝見し申し分無い旨の幕府代	
	官役所宛証文下書(安永六年七月)……………	105
79	新城菅沼家知行所設楽郡東杉山村による年貢米および麦等の	
	蔵納入通(寛政十一年十月)……………	106
80	年貢米の早急入札売払い等につき旗本問部家来より知行所	
	村方宛下知書(天保七年十二月)……………	107
81	年貢納入のため十名分拝借金につき設楽郡東杉山村村方三役	
	証文控(天保七年十二月)……………	107
82	設楽郡東田原村郷指出明細帳(抄)(宝暦十三年正月)……………	109
83	幕領八名郡能登瀬村宛宝永六年分年貢皆済目録	
	(宝永七年三月)……………	109
84	吉田藩領八名郡金田村宛年貢皆済目録(元禄十四年十二月)……………	110
85	宝飯郡御馬村の寺社方・惣百姓より同村庄屋宛高役証文連判	
	帳(元禄十二年正月)……………	110
二 強制された先納金・調達金		
86	旗本海老菅沼家知行所八名郡下吉田村庄屋より石田役所宛年	
	貢先納分勘定書(宝暦五年十二月)……………	113
87	旗本設楽家知行所設楽郡内村々より八名郡乗本村菅沼八左衛	
	門宛先納金借用証文(文化十三年六月)……………	114
88	地頭への調達金借用につき宝飯郡御馬・市田両村より御馬村	
	善九郎宛証文(安永七年十一月)……………	115
89	金四百五十兩を郷印証文にて借用につき曲淵和泉守家来より	
	知行所両村宛一札(天保十五年十一月)……………	116
90	地頭借金返済で松平与一右衛門知行所宝飯郡上之郷村より遠	
	州中泉代官所宛証文控(弘化二年九月)……………	116
三 運上金・異加金の納入		
91	水車一輛の運上金につき幕領八名郡乗本村持主八左衛門より	
	赤坂代官所宛請書控(明和九年二月)……………	118
92	宝飯郡赤坂宿宛年貢割付状(文政二十年十月)……………	118
93	八名郡乗本村河岸での筏組運上徴収免除につき八名・設楽両	
	郡村々願書下書(安永七年閏七月)……………	120
四 村入用・郡中入用の負担		
94	幕領設楽郡池場村寛保元年分村入用帳(寛保二年三月)……………	121
95	文化六年中の国役金および村入用等諸入用につき吉田藩領八	
	名郡橋尾村より報告書控(文化七年)……………	123
96	村入用削減等につき遠州中泉代官辻守貞より十一か条触書写	
	(寛政六年二月)……………	124
97	遠州中泉代官手代による幕領設楽郡池場村分の寛政九年郡中	

細目次

108	八名郡八名井村母子宝飯郡東上村百姓門相続につき東上村宛	138	118	渥美郡杉山村と同郡大津村の海境論裁許絵図裏書写	153
107	設楽郡市原村名主九十九譜代下女縁代につき同郡大谷村宛村送り一札(文化十四年二月)	138	117	争論訴状写(貞享二年五月)	152
106	文控(延享二年二月)		116	田原藩領渥美郡今田村より吉田藩領同郡谷熊村へ懸る干潟境共乱暴につき訴状下書(慶安四年)	
105	設楽郡組合村々十一か村儉約取決め連印一札控	136		宝飯郡御馬村より蛤取りの男女へ同郡梅敷村ほか四か村の者	
104	設楽郡川手村松井藤蔵勤役諸控帳(抄)	133		一 海浜をめぐる	
103	質利息引上げ願書願い下げにつき郡中惣代清太夫より村々名主宛廻状写(二月)	133		第二章 土地の利用・開発と災害・争論	
102	遠州中泉代官羽倉外記留任願いの顛末につき郡中惣代より	131		第一節 土地の利用と争論	
101	郡中入用三州・遠州打ち込み勘定割につき郡中一同より赤坂役所宛請書下書(享和二年六月)	131		一 海浜をめぐる	
100	廻状写(安政二年七月)	131		宝飯郡御馬村より蛤取りの男女へ同郡梅敷村ほか四か村の者	
99	郡中惣代後役につき三州各郡惣代および遠州郡中惣代より赤坂役所宛願書控(文政三年十月)	130		共乱暴につき訴状下書(慶安四年)	
	一 地域の組織			田原藩領渥美郡今田村より吉田藩領同郡谷熊村へ懸る干潟境争論訴状写(貞享二年五月)	
	二 地域間の人の移動			渥美郡杉山村と同郡大津村の海境論裁許絵図裏書写	
98	入用請取書(寛政十年五月)	126			
	第三節 地域間のつながり				
	一 地域の組織				
	二 地域間の人の移動				
	三 地域の諸問題				
	四 地域の諸問題				
	五 地域の諸問題				
	六 地域の諸問題				
	七 地域の諸問題				
	八 地域の諸問題				
	九 地域の諸問題				
	十 地域の諸問題				
	十一 地域の諸問題				
	十二 地域の諸問題				
	十三 地域の諸問題				
	十四 地域の諸問題				
	十五 地域の諸問題				
	十六 地域の諸問題				
	十七 地域の諸問題				
	十八 地域の諸問題				
	十九 地域の諸問題				
	二十 地域の諸問題				
	二十一 地域の諸問題				
	二十二 地域の諸問題				
	二十三 地域の諸問題				
	二十四 地域の諸問題				
	二十五 地域の諸問題				
	二十六 地域の諸問題				
	二十七 地域の諸問題				
	二十八 地域の諸問題				
	二十九 地域の諸問題				
	三十 地域の諸問題				
	三十一 地域の諸問題				
	三十二 地域の諸問題				
	三十三 地域の諸問題				
	三十四 地域の諸問題				
	三十五 地域の諸問題				
	三十六 地域の諸問題				
	三十七 地域の諸問題				
	三十八 地域の諸問題				
	三十九 地域の諸問題				
	四十 地域の諸問題				
	四十一 地域の諸問題				
	四十二 地域の諸問題				
	四十三 地域の諸問題				
	四十四 地域の諸問題				
	四十五 地域の諸問題				
	四十六 地域の諸問題				
	四十七 地域の諸問題				
	四十八 地域の諸問題				
	四十九 地域の諸問題				
	五十 地域の諸問題				
	五十一 地域の諸問題				
	五十二 地域の諸問題				
	五十三 地域の諸問題				
	五十四 地域の諸問題				
	五十五 地域の諸問題				
	五十六 地域の諸問題				
	五十七 地域の諸問題				
	五十八 地域の諸問題				
	五十九 地域の諸問題				
	六十 地域の諸問題				
	六十一 地域の諸問題				
	六十二 地域の諸問題				
	六十三 地域の諸問題				
	六十四 地域の諸問題				
	六十五 地域の諸問題				
	六十六 地域の諸問題				
	六十七 地域の諸問題				
	六十八 地域の諸問題				
	六十九 地域の諸問題				
	七十 地域の諸問題				
	七十一 地域の諸問題				
	七十二 地域の諸問題				
	七十三 地域の諸問題				
	七十四 地域の諸問題				
	七十五 地域の諸問題				
	七十六 地域の諸問題				
	七十七 地域の諸問題				
	七十八 地域の諸問題				
	七十九 地域の諸問題				
	八十 地域の諸問題				
	八十一 地域の諸問題				
	八十二 地域の諸問題				
	八十三 地域の諸問題				
	八十四 地域の諸問題				
	八十五 地域の諸問題				
	八十六 地域の諸問題				
	八十七 地域の諸問題				
	八十八 地域の諸問題				
	八十九 地域の諸問題				
	九十 地域の諸問題				
	九十一 地域の諸問題				
	九十二 地域の諸問題				
	九十三 地域の諸問題				
	九十四 地域の諸問題				
	九十五 地域の諸問題				
	九十六 地域の諸問題				
	九十七 地域の諸問題				
	九十八 地域の諸問題				
	九十九 地域の諸問題				
	一百 地域の諸問題				

119	渥美郡貝之浜入会地争論につき渥美郡高木村ほか六か村庄屋 取り替わし証文(文政六年十二月)……………	155	〈明和三年十月〉……………
	二 田畑をめぐって	156	
120	設楽郡上菅沼村伝右衛門等より同村左吉に対し畑地役無しに 永代売渡し証文(延宝二年十二月)……………	157	
121	田地および地付山川・ぼた・くねとも永代売渡し証文 ……………	158	〈享保十八年十二月〉……………
122	設楽郡上菅沼村伊兵衛より同村清七に対し畑地・茶の木永代 売渡し証文(延享四年十二月)……………	158	
123	設楽郡河内村三之助より同村新兵衛に対し焼畑譲渡し証文写 ……………	159	〈嘉永五年七月〉……………
124	設楽郡大和田村久兵衛より同村庄兵衛に対し畑地永代売渡し 証文(延宝八年三月)……………	159	
125	設楽郡大和田村惣百姓代・組頭より請戻しの約定にて同村庄 屋へ田畑売渡し手形(宝暦九年九月)……………	160	
126	設楽郡畑村庄兵衛と弥四郎の地所請戻し出入内済につき訴訟 取下げ願書(天明三年六月)……………	160	
127	設楽郡御領村の田地を村方に断りなく売渡しにつき取戻し願 書(寛政十二年六月)……………	162	
128	設楽郡小田村小前持分田畑反別定めにつき連印証文 ……………	163	〈文政七年二月〉……………
129	三 山野をめぐって	163	
130	設楽郡市場村の衆乱暴による怪我人の薬代等支弁につき同郡 野郷村役人口上書(元禄五年九月)……………	163	
	設楽郡市場村ほか四か村と同郡野郷村との山論内済証文 ……………	163	
131	設楽郡新城領十一か村と弓木村ほか二か村の山論につき幕府 評定所裁許絵図裏書(元禄十一年五月)……………	166	〈元禄六年六月〉……………
132	設楽郡山方布里村内荒原ほか四か村と里方三十一か村の入会 山論裁許絵図裏書写(享保十一年九月)……………	167	
133	設楽郡畑村と柴草山境論につき同郡奈根村返答書控 ……………	168	〈明和元年六月〉……………
134	宝飯郡金割村ほかより入会地へ植樹・乱暴狼藉につき同郡広 石村ほか八か村訴状控(寛文九年三月)……………	170	
135	宝飯郡市田村ほかと馬草場争論につき鳥羽藩役人宛同郡千両 村役役人口上書控(元禄十六年十一月)……………	172	
136	渥美郡村松村ほか評定所裁許に背き入会山にて乱暴につき同 郡伊川津村訴状控(貞享四年四月)……………	174	
137	渥美郡日出村と同郡伊良湖村の野地争論取扱証文 ……………	175	〈元禄三年十一月〉……………
138	渥美郡山田村と同郡古田村との山論和談取り替わし証文 ……………	176	〈宝永二年九月〉……………
	第二節 新田開発		
	一 干潟の干拓		
139	渥美郡日比浜に新田仕立てにつき宝飯郡牛久保村小野彦右衛 門より請負証文(寛文十三年七月)……………	178	
140	渥美郡田原領安原崎新田を尾州知多郡岩滑村森与次兵衛等申 請けにつき証文(貞享元年六月)……………	179	
141	新城町鈍屋吉左衛門より渥美郡馬見塚村渡辺内治等宛新田 売渡し証文下書(安永七年六月)……………	181	

細目次

142	幕府代官より海辺新田開発差障りの有無調査につき渥美郡馬伏村ほか上申書控〈文化十年十一月〉……………	182	153	設楽郡今出平村池堤再普請につき同郡間之町村鍬子惣代吉之丞等より請書控〈弘化四年二月〉……………	193
143	渥美郡高木村地先入江へ代官所より新開見立てにつき村役人難洪申立て願書控〈文化十年閏十一月〉……………	183	154	設楽郡市場村松五郎新田用水として同所吉右衛門より余り水貰い請け一札〈嘉永二年正月〉……………	194
	二 山野の開墾		二 水論		
144	新田中河内一村立ち出願に対し設楽郡長者平村ほかより口上書〈元禄七年二月〉……………	184	155	八名郡賀茂村と川下村々用水論のところ同郡橋尾村荒畑測量は迷惑につき訴状〈元禄六年二月〉……………	194
145	新田畑・切添え改めにつき宝飯郡長山村一札控	185	156	宝飯郡上佐脇村と同郡小田淵村の用水論取扱いと談書	195
146	渥美郡龜山村ほか二か村字岡山新開地高人れ困難につき願書写〈天保四年二月〉……………	185	157	宝飯郡上佐脇村と同郡森村との分水裁許状〈享保十年四月〉……………	196
147	設楽郡上津具町方・山方両村村役人宛字大明神新田開発入用金等受取証文〈安政四年三月〉……………	186	158	設楽郡下津具北方村勘右衛門と同村重右衛門水争いにつき五人組証文〈安政三年六月〉……………	197
148	設楽郡田峯村竹島組新田開発につき草刈り取決め一札	187		第四節 災害と復旧	
	一 用水施設		一 風水害		
	第三節 水の確保と管理		159	設楽郡寄近村水害田畑永引帳〈延宝八年九月〉……………	198
149	設楽郡大和田村井堰修復扶持麦頂戴につき願書控	188	160	大風雨被害につき設楽郡十三か村組より年貢減願書控	199
150	設楽郡奈根村小平太畑地田成りのため新井堰建設につき村役人等宛一札写〈享和二年三月〉……………	189	161	水害のため御救と復旧工事につき設楽郡河内村より赤坂役所宛願書〈寛政二年二月〉……………	200
151	設楽郡上津具村御林より井堰普請用木材伐り出し本数書上控	191	162	飢餓人急夫食拝借につき設楽郡別所村ほか四か村より赤坂役所宛願書下書〈天保七年九月〉……………	202
152	川中へ材木積み置き出水にて井堰の妨げにつき設楽郡身平橋村長七より証文〈弘化二年三月〉……………	192	163	三河国中凶作につき年貢は安石代金納にて納入の願書下書	204
			二 干害		
			164	大日照り水不足にて宝飯郡小田淵村ほかと用水交渉の経緯に	

細目次

第四章 町のしくみと政治

第一節 町のすがた

一 町のかたち

188 新城町高・人数等につき覚書〈宝暦十一年二月〉……………234

189 御入部ならびに御在館御用留書〈抄〉〈明和七年閏六月〉……………234

190 吉田下り町家屋敷売渡し証文〈明和元年十一月〉……………239

191 新城町中町元鍋屋文右衛門屋敷図〈元治元年十月〉……………240

192 吉田下り町家数名前帳〈享和二年十月〉……………242

193 吉田下り町内組頭組合覚書〈享和三年四月〉……………243

二 町の機能

194 吉田町町入用割覚書〈十二月〉……………244

195 宿泊統制触書〈五月〉……………245

196 吉田橋普請御手伝松平備後守奉公人吟味につき請書〈申五月〉……………245

197 吉田下り町与八郎商用につき他行願書〈寛政十年二月〉……………246

198 吉田下り町三之助他行により家屋敷・年貢諸役引請けにつき願書〈寛政十一年八月〉……………246

199 両親を失った子の養育費請取書〈嘉永六年三月〉……………247

200 吉田魚町ほか三町白山社神主任官費用町割の覚書
 〈享和三年閏正月〉……………247

201 吉田町木戸番・夜番触書〈十月〉……………248

202 吉田町町役勤務の請書〈寛政十一年正月〉……………249

203 新城町月番覚帳〈安政四年から六年〉……………250

第二節 町の暮らし

一 さまざまな生業

204 吉田下り町町内諸商売調書……………267

205 吉田町質仲間相統証文〈元禄二年六月〉……………270

206 吉田町質仲間一統申し合わせ書写〈文政十年十月〉……………271

207 新城町酒商売につき取り替わし証文〈延享元年十月〉……………272

208 吉田町大工触頭につき触書〈七月〉……………272

209 吉田下り町町内大工・木挽名前調べにつき町役所宛回答書
 〈西八月〉……………273

210 吉田町中柴市三郎瓦商売につき一札〈明和二年六月〉……………273

211 吉田町中柴市三郎瓦商売につき借金証文〈明和二年六月〉……………274

212 吉田町豆腐屋惣代につき触書〈午十月〉……………274

213 吉田下り町庄屋孫八郎小売油商売につき願書〈亥正月〉……………274

214 遠州金指村医師吉田町移住につき村送り一札〈文化十年五月〉……………275

215 御帰府御供日雇願につき書状〈五月〉……………275

216 吉田下り町長十郎日雇願書〈辰三月〉……………276

217 吉田城下御用商人等による願照寺への借財願書
 〈文政二年二月〉……………276

二 町の風俗と統制

218 新城町奉公人取締り触書〈文久元年十一月〉……………277

219 吉田町欠落者立帰り規制に関する触書〈子二月〉……………278

220 吉田町町方殺生禁止等の触書〈享和二年十一月〉……………279

221 新城町儉約触書〈丑七月〉……………279

222 新城町祭礼時の花火中止等につき願書〈安永三年七月〉……………281

223 吉田町博奕統制触請書雛形〈卯二月〉……………281

238	八名郡乗本村菅沼八左衛門家田畑作付日記(抄)〈宝永七年〉……	302	251	宝飯郡北金屋村中尾家より設楽郡栗世村熊谷市左衛門宛鑄掛職免許状〈安政二年十一月〉……	321
	一 さまざまな農作物		250	宝飯郡北金屋村中尾家より設楽郡栗世村熊谷市左衛門宛鑄掛職免許状〈安政二年十一月〉……	321
	第一節 農業		249	宝飯郡北金屋村中尾家より設楽郡栗世村熊谷市左衛門宛鑄掛職法掟書〈天保十五年三月〉……	319
	第五章 農業・手工業・商業		248	宝飯郡北金屋村中尾家より設楽郡栗世村熊谷市左衛門宛鑄掛請書〈文化十三年九月〉……	319
237	新城菅沼家代替わりにつき町在惣代出府一件留書 〈享和四年正月・二月〉……	297	247	中尾家宛請書〈文化十二年十一月〉……	318
236	新城東新町庄屋等無許可出府・出訴につき処分等通知書 〈寛保三年五月〉……	296	246	鑄掛職免許につき尾州久米村鑄物師弟子より宝飯郡北金屋村 与兵衛宛仕切状〈辰六月〉……	317
234	吉田下り町ほか二町御救米拝借証文〈天保六年十二月〉……	293		第二節 職人と諸稼ぎ	
233	新城菅沼家勝手向儉約仕法につき御用達への七か条仰出書 〈寛政二年十一月〉……	291	245	御林下枝松葉伐り出しにつき渥美郡保美村ほか二か村より赤 坂役所宛願書控(抄)〈延享二年〉……	315
232	吉田藩主奥様改名につき触書〈寛政七年二月〉……	291	244	山林分与につき東観音寺より同寺領渥美郡小松原村宛一札 宛証文〈元禄四年四月〉……	314
230	大御所他界につき普請鳴物停止触書〈寛延四年六月〉……	290	243	渥美郡小松原村持ち山の松葉売却金一部上納につき東観音寺 宛証文〈元禄四年四月〉……	314
229	吉田下り町庄屋印形変更届〈寅四月〉……	290	242	二里山からのめぐみ	
228	西郡町町役人馬免許状〈巳四月〉……	289	241	宝飯郡日色野村畑方大豆損毛につき見分願書〈天保八年九月〉……	312
227	新城町祭礼時の騒動事済み書付写〈慶応二年八月〉……	285	240	宝飯郡日色野村畑方大豆損毛につき見分願書〈天保八年九月〉……	311
	第三節 領主と町		239	宝飯郡長山村権田定治郎家農事日誌(抄)〈天保六年〉……	306
226	田原町での左義長にまつわる風聞留書〈享保十八年〉……	284			
225	吉田町風あげ規制触書〈享和三年三月〉……	284			
224	吉田町博突摘発により松飾り・もちつき禁止につき覚書 〈寛政十三年正月〉……	282			

細目次

252	宝飯郡北金屋村中尾家より設楽郡粟世村熊谷市左衛門宛掛鉢 職定書〈安政二年十一月〉……………	321	本院宛嘆願書下書〈文久元年三月〉……………	331
253	大湊御蔵所より三州鋳物師惣代宛炭値段書上〈天保五年三月〉……………	321		
254	炭値段引下げにつき尾州・三州鋳物師仲間より願書下書……………	322		
255	新城町鍋屋文右衛門借財書上帳〈万延元年九月〉……………	323		
256	鉄値段につき三か国鋳物師仲間年行司より鍋屋平九ほか金物 屋十四名宛廻状〈明治四年正月〉……………	325		
257	二 鍛冶屋 弟子次郎右衛門一件につき飛州古川町出職鍛冶善次郎より赤 坂役所宛願書控〈寛保二年三月〉……………	326		
258	尾州小倉村鍛冶屋林右衛門より金百両借用につき海老菅沼家 役所請取書〈嘉永六年三月〉……………	327		
259	尾州大野村源三郎より設楽郡長者平村太兵衛宛鍛冶株借用書 ……………	328		
260	鍛冶道具・鍛冶株借用分の上納金につき設楽郡長者平村太兵 衛宛一札〈文久二年正月〉……………	328		
261	三 醸造業 八名郡乗本村酒造人八左衛門より赤坂役所宛酒造株書上 ……………	329		
262	酒造鑑札貸与につき額田郡土呂村郷土松平甚助より設楽郡島 田村民蔵宛書付〈嘉永六年七月〉……………	330		
263	設楽郡島田村民蔵酒造稼ぎにつき同村村役人より新城菅沼家 役所宛願書〈安政三年〉……………	330		
264	借財精算のため設楽郡島田村民蔵の酒造株等村方預けにつき 一札〈安政四年十二月〉……………	331		
265	設楽郡島田村民蔵の借金返済につき同村村役人より鳳来寺岩 ……………	331		
266	八名郡乗本村菅沼八左衛門家安永五年分仕上勘定帳 ……………	333		
267	八名郡乗本村菅沼家三州・尾州商売取引先覚書……………	340		
268	新城町への茶売出しにつき新城菅沼家役所より領内村々宛触 書〈宝暦五年七月〉……………	344		
269	新城町にて茶等荷物請払いは迷惑につき八名郡乗本村より願 書写〈宝暦八年十一月〉……………	344		
270	茶荷物請払につき宝飯郡前芝湊茶問屋より八名郡三か村荷 主宛証文〈明和二年九月〉……………	346		
271	二 辛灰・炭の流通 江戸での三州辛灰捌き方につき八名郡大野村大和屋五兵衛等 より申上げ書〈明和元年十一月〉……………	348		
272	江戸での辛灰売場会所支配につき八名郡大野村大和屋五兵衛 等より申上げ書〈明和元年十一月〉……………	349		
273	灰屋喜右衛門方へ辛灰積送りにつき江戸商人より八名郡大野 村荷主方宛引請証文写〈明和三年六月〉……………	350		
274	江戸柳原炭会所御用につき八名郡一鍛田村利平次・設楽郡横 山村孫四郎請負願書〈文政十二年二月〉……………	352		
275	八名郡一鍛田村利平次炭仲買につき吉田上伝馬町左大夫より 町方役所宛願書〈午六月〉……………	352		
276	三 塩の売買 吉田町における塩売買俵入目につき同町塩屋商売仕来り書上 ……………	352		

第三節 商業

一 茶の集荷と販売

277	川上村々での塩取扱い差止めにつき吉田船町入船塩間屋より願書へ寛政六年二月	353	〈正徳六年二月〉
278	吉田町質屋仲間申し合わせ書へ宝暦七年六月	356	
279	吉田町質屋仲間月番帳(抄)へ嘉永元年七月	358	
第六章 山村の生業			
第一節 林業			
一 植林と育林			
280	村惣百姓入会山等への植林につき設楽郡池場村小前百姓等村中掟請書写へ宝暦八年十一月	362	
281	御林栗木の育林状況吟味につき設楽郡池場村より岩松直右衛門役所宛届書控へ安永二年八月	363	
282	杉・檜の育林状況吟味につき設楽郡三瀬村ほか二か村より岩松直右衛門役所宛届書控へ安永三年	364	
283	設楽郡池場村金田家家訓および歴代植林・育林等につき覚書	365	
二 山林の所有と売買			
284	設楽郡池場村山地売渡しにつき八名郡乗本村八左衛門宛山地絵図写へ天明八年二月	367	
285	設楽郡川合村山持ち百姓と同村山無し百姓出入りにつき内濱証文へ寛政八年十二月	368	
286	八名郡乗本村小川組要七より為屋正蔵宛林畑売渡し証文	370	〈寛政十二年四月〉
287	設楽郡池場村惣百姓山立本年季売渡し証文写	370	
288	惣百姓山割山につき設楽郡和市村より同村岡蔵宛証文	370	〈享和二年十二月〉
289	割山出入りにつき設楽郡和市村役人より同村岡蔵宛証文	371	〈嘉永三年十二月〉
290	設楽郡池場村平右衛門持ち山村内入札にて同村徳右衛門へ売渡しにつき証文へ元治元年三月	372	〈文久三年十一月〉
291	御用材請負人碧海郡川島村太田佐兵衛材木買付につき赤坂役所より廻状へ三月	372	
292	三 伐り出しと川狩り	372	
293	御用木伐り出し後御林利用につき設楽郡池場村より幕府代官野田三郎左衛門宛願書へ元禄二年九月	373	
294	御林山山留めにつき設楽郡池場村庄屋より幕府代官平野三郎左衛門宛請書へ元禄七年五月	374	
295	設楽郡久野淵御林御用材伐り出しにつき同郡池場村ほか二か村より届書へ宝永三年八月	375	
296	請負人太田佐兵衛御林伐り出しにつき設楽郡池場村より心得方請書控へ文化九年九月	376	
297	加茂郡牛地村百姓水死につき設楽郡川合村村元方等より牛地村宛届書へ弘化二年五月	378	
298	八名郡上吉田村山より材木搬出時の同郡山吉田の井堰利用等につき規定書へ慶応二年正月	379	
299	職分取締りのため仲間公認依頼につき八名・設楽両郡木師売人惣代より願書写へ卯九月	380	

332	菅沼家役所宛願書〈文政七年閏八月〉……………	410
331	椎茸山売買一件につき設楽郡池場村正次郎より豆州椎茸屋坂次郎宛証文〈弘化三年正月〉……………	412
330	設楽郡川合村御林での椎茸稼ぎ許可につき八名郡乗本村耕兵衛より足助役所宛願書〈明治三年正月〉……………	413
329	設楽郡川合村御林にての椎茸栽培下請け継続につき同村椎茸造人亦助等より願書〈明治三年十月〉……………	414
328	三 炭と辛灰	
327	濃州付知村辛灰職人抱え先一件につき設楽郡池場村里右衛門より返答書〈文化元年十月〉……………	415
326	用材伐り出し後の御林跡山にて肥灰焼き稼きおよび檜植林につき請書下書〈文化十一年八月〉……………	416
325	紀州奥熊野村炭焼職人出稼き先設楽郡島田村彦坊山にて病死につき届書〈元治元年六月〉……………	417
324	設楽郡大沢村ほか十二か村より鍛冶炭焼出しにて拝借金返済仕法書〈明治元年十月〉……………	418
323	四 狩猟・川漁・産牛馬	
322	狩師鉄砲による狩猟許可につき八名郡名号村狩師より願書〈元禄二年七月〉……………	420
321	八名郡名号村より幕府代官平野三郎右衛門宛狩師鉄砲証文〈元禄六年正月〉……………	421
320	害獣狩りのごとく誤射疵付き病死人につき八名郡名号・名越・川合三か村より届書〈安政二年正月〉……………	421
319	信州向方村百姓熊狩りにて設楽郡河内村御林に立入りにつき託証文〈文久二年十二月〉……………	422
318	設楽郡押山村と濃州小田子村の川論につき内清取扱い証文……………	422
317	333 貞享年中川論取扱い証文写につき濃州小田子村役人より設楽郡押山村役人宛口上書〈文政六年四月〉……………	424
316	334 魚滝運上および魚笥鮎漁につき設楽郡押山村より赤坂役所宛届書下書〈文政十三年九月〉……………	425
315	335 仔馬売買一件につき設楽郡上菅沼村三十郎等内清規定書写〈元治元年四月〉……………	426
314	第七章 海村の生業	
313	第一節 漁業	
312	一 魚猟と運上	
311	336 漁具売買等につき渥美郡小塩津村ほか四か村取替え証文〈元文元年九月〉……………	430
310	337 渥美郡高松村浜法度ならびに村方作法書帳〈寛保三年五月〉……………	430
309	338 尾州知多郡横須賀村から小海線網買い入れ漁猟株復興につき渥美郡畠村より願書〈文化十二年六月〉……………	434
308	339 渥美郡小松原村浜に魚あがりの際同郡小島村の者共過言無作法につき村役人口上書〈宝暦六年三月〉……………	435
307	340 渥美郡畠村と同郡古田村との漁事入組取扱い済口証文〈天保十年十二月〉……………	435
306	341 渥美郡小松原村網運上金有免につき村役人・網元より東観音寺納所宛証文〈元禄十三年十二月〉……………	437
305	342 元禄年間から延享二年までの東観音寺領渥美郡小松原村網方運上覚書……………	438
304	343 大垣新田藩役人より渥美郡畠村宛唐網運上納入命令書……………	438

369	浦々添高札請取りにつき渥美郡小松原村ほか九か村より証文 写へ正徳二年十一月……………	467
370	寄船に際し村方心得につき東観音寺より申付書下書……………	468
	二 破船救助	
371	公儀御用船破船に際し渥美郡赤沢村より出役人足夫米代金借 用証文(明和八年三月)……………	470
372	御用材木等漂流無き旨の渥美郡伊古部村庄屋より尾張藩役人 宛一札(文政十三年閏三月)……………	471
373	寄船六か月経過にて下げ渡しにつき渥美郡小島村より赤坂役 所宛請書控(天保十年十二月)……………	471
374	破船碇分一金支払いにつき尾州知多郡半田村船頭より渥美郡 赤羽根中村庄屋宛一札(文化四年十月)……………	471
	第八章 川・海交通・流通	
	第一節 豊川水運	
	一 川船と船持・船人	
375	鵜飼船名代二十艘につき八名郡乗本村船持仲間連印一札 (寛延三年三月)……………	474
376	八名郡乗本村小川組藤八郎より同組八左衛門宛鵜飼船名代一 艘借用証文(寛延三年十二月)……………	475
377	八名郡乗本村本郷組幸右衛門より同村小川組八左衛門宛鵜飼 船売渡し証文(天明七年十二月)……………	476
378	鵜飼船破船時の合力につき設楽郡長篠村・八名郡乗本村船持 取決め一札(安永四年八月)……………	476
379	八名郡乗本村・設楽郡長篠村船持仲間鵜飼船旋取決めにつき	476
380	八名郡乗本村八左衛門召し抱え船人善蔵欠落一件につき同村 船持等連印一札(明和四年閏九月)……………	480
381	棹賃引下げにつき徒党頭取八名郡乗本村八左衛門船人善吉・ 長十・市三郎証文(明和四年十月)……………	481
382	新城町への書付印形拒否につき設楽郡石田村船頭一札控 (嘉永五年七月)……………	483
383	設楽郡川路村より買取りの古船にて通船につき同郡横山村船 持差出し一札(文政五年正月)……………	485
384	船稼ぎ川筋仕訳につき設楽郡滝川村船持惣代と八名郡乗本村 船持惣代取替え一札(天保五年八月)……………	486
385	八名郡三渡野村船稼ぎ仲間瀬取引受けにつき取決め規定書 (安政四年十月)……………	486
386	吉田川通八名郡日下部・養父両村地内井堰船路普請出来につ き見分書写(天保十一年八月)……………	488
	二 河岸と問屋	
387	八名郡乗本村羽根河岸荷物請け払いにつき同村為屋正作定久 覚書(安永五年八月)……………	490
388	諸荷物置場役水上納につき八名郡乗本村八左衛門より願書 (文政十年十月)……………	492
389	八名郡一鍛田村海倉河岸場口銭覚書(文化五年四月)……………	494
390	八名郡養父村新規河岸差止めにつき同郡一鍛田村理平次より 赤坂役所宛願書(天保四年三月)……………	494
391	河岸問屋株運上金上納につき八名郡一鍛田村理平次より吉田 藩役人宛願書(天保九年九月)……………	496

細目次

392	三 東上分一番所 東上分一番所改め通行につき設楽郡長篠村内金為屋伝右衛門より同番所宛手形〈三月〉……………	497
393	東上分一番所改め通行につき八名郡島原村平右衛門より同番所宛手形〈辰二月〉……………	498
394	分一運上月締納高差出しにつき東上分一番所より豊川筋村々宛廻状〈酉二月〉……………	498
395	設楽郡長篠村久左衛門船積荷物違反につき同村船持等より東上分一番所宛証文〈文化十二年二月〉……………	499
396	新城町六太夫手船積荷物手形と相違につき東上分一番所宛証文〈文政十二年十二月〉……………	501
397	宝飯郡東上村庄屋弾右衛門等より同村および額田郡細川村番所分一運上請負証文〈宝暦三年正月〉……………	502
398	分一運上請負人設楽郡川路村与右衛門不法につき八名郡乗本村ほかより願書下書〈安永四年五月〉……………	503
399	四 材木の管流し・筏下し 筏乗稼ぎ規定につき設楽郡長篠村・八名郡乗本村筏乗仲間より両村役人宛請書〈安永四年正月〉……………	507
400	筏下しのため通船支障につき八名郡乗本村鶴船持より所々荷主宛廻状〈閏十二月〉……………	510
401	設楽郡川路村与右衛門の管流し差止めにつき八名郡乗本村より二川宿役所宛願書〈安永六年七月〉……………	511
402	筏流し出入りにつき八名郡乗本村ほか二か村筏組と滝川筋売人・日雇方内済証文〈文政二年六月〉……………	512
403	設楽郡川路村半蔵材木管流しにつき乗本村等船持・筏乗より寺社奉行所宛訴状〈天保十三年十二月〉……………	514
404	宝飯郡御馬村湊上前土場銭取決めにつき同村百姓連判手形 一 湊と問屋 第二節 三河湾海運	518
405	渥美郡畠村湊河岸役賃改帳控〈抄〉〈享保九年閏四月〉……………	519
406	吉田船町と澁杭建替え出入りにつき宝飯郡前芝村百姓連判帳 〈元文元年六月〉……………	521
407	吉田船町と澁杭建替え出入り済口につき宝飯郡前芝村覚帳 〈元文二年八月〉……………	522
408	湊常灯料として役引高につき宝飯郡前芝村口上書控 〈宝暦二年十一月〉……………	523
409	廻船荷物の荷主・船頭相對積みにつき吉田河岸ほか廻船問屋より赤坂役所宛願書写〈嘉永三年九月〉……………	524
410	山荷物運送につき吉田・前芝・御馬三湊四問屋と山方荷主惣代取り替わし議定書〈万延元年八月〉……………	525
411	二 海上輸送と廻船 宝飯郡三谷村船数書上〈寛永十年八月〉……………	527
412	舟役につき渥美郡石神村より赤坂役所宛上申書 〈宝暦四年五月〉……………	528
413	渥美郡畠村吉久丸四郎吉船積手板〈安政四年三月〉……………	528
414	山荷物と酒荷物積送りにつき知多郡半田組樽廻船と吉田湊積問屋取り替わし一札写〈万延元年八月〉……………	532
415	渥美郡畠村権六へ年貢廻米世話依頼につき同郡保美村ほかより願書下書〈明治元年十一月〉……………	534

第三節 渡船と寄せ船

一 渡船

416 吉田大橋流失につき東海道吉田宿船町渡船記録(抄)

417 渡船村方支配につき宝飯郡当古村より吉田藩役人宛願書

418 渡船等につき赤坂役所より設楽郡滝川村宛定書写

419 渡船賃銭増方につき設楽郡滝川村より赤坂役所宛願書

420 吉田大橋普請中渡船助船につき宝飯郡前芝村記録帳(抄)

421 宝飯郡当古村渡船場へ寄せ船につき吉田藩通達写

422 朝鮮人来朝につき遠州新居町十蔵等より渥美郡石神村宛寄せ船代金請取書(正徳元年十一月)

423 遠州新居宿問屋・船役人より渥美郡五か村宛寄せ船代金請取書(宝暦十三年十月)

二 寄せ船

424 東海道分間絵図調査につき東海道吉田宿方書上控帳写(抄)

425 東海道二川宿・同宿加宿大岩町書上帳(文化十一年八月)

426 東海道赤坂宿内往還間数・並木数書上帳(天保十五年十一月)

427 東海道赤坂宿内人別仕訳書上帳(明治二十二年十二月)

428 二人馬継立・休泊施設

429 本坂通嵩山宿の助郷組替えにつき代助郷村々より一札

430 江戸・大坂飛脚問屋による東海道赤坂宿取扱荷物・書状等の配送請負証文(宝暦四年十一月)

431 定飛脚にて継送りの書状請取書(慶応四年六月)

432 馬一疋分の飼料につき東海道二川宿より上申書

433 荷物継立用に地車使用につき東海道二川・御油・赤坂・藤川四宿より願書(嘉永七年八月)

434 荷物継立に小車使用許可につき東海道二川・御油・藤川三宿より赤坂役所宛上申書(安政四年四月)

435 東海道赤坂宿にて伝馬役車請負いにつき一札

436 東海道赤坂宿旅籠屋仲間による宿泊旅客振分け規定書

437 大名諸家休泊料金値上げ案内書(慶応二年)

438 東海道赤坂宿奉公人身請金半額後払いにつき証文

425 東海道二川宿・同宿加宿大岩町書上帳(文化十一年八月)………559

426 東海道赤坂宿内往還間数・並木数書上帳(天保十五年十一月)………561

427 東海道赤坂宿内人別仕訳書上帳(明治二十二年十二月)………562

428 二人馬継立・休泊施設………562

429 本坂通嵩山宿の助郷組替えにつき代助郷村々より一札(安永二年四月)………565

430 江戸・大坂飛脚問屋による東海道赤坂宿取扱荷物・書状等の配送請負証文(宝暦四年十一月)………568

431 定飛脚にて継送りの書状請取書(慶応四年六月)………569

432 馬一疋分の飼料につき東海道二川宿より上申書(嘉永六年八月)………569

433 荷物継立用に地車使用につき東海道二川・御油・赤坂・藤川四宿より願書(嘉永七年八月)………569

434 荷物継立に小車使用許可につき東海道二川・御油・藤川三宿より赤坂役所宛上申書(安政四年四月)………571

435 東海道赤坂宿にて伝馬役車請負いにつき一札(慶応三年十二月)………572

436 東海道赤坂宿旅籠屋仲間による宿泊旅客振分け規定書(文化十三年正月)………573

437 大名諸家休泊料金値上げ案内書(慶応二年)………574

438 東海道赤坂宿奉公人身請金半額後払いにつき証文(文化八年三月)………574

第九章 陸の交通・流通

第一節 東海道・本坂通

一 東海道各宿の概要

424 東海道分間絵図調査につき東海道吉田宿方書上控帳写(抄)

425 東海道二川宿・同宿加宿大岩町書上帳(文化十一年八月)………559

426 東海道赤坂宿内往還間数・並木数書上帳(天保十五年十一月)………561

427 東海道赤坂宿内人別仕訳書上帳(明治二十二年十二月)………562

428 二人馬継立・休泊施設………562

429 本坂通嵩山宿の助郷組替えにつき代助郷村々より一札(安永二年四月)………565

430 江戸・大坂飛脚問屋による東海道赤坂宿取扱荷物・書状等の配送請負証文(宝暦四年十一月)………568

431 定飛脚にて継送りの書状請取書(慶応四年六月)………569

432 馬一疋分の飼料につき東海道二川宿より上申書(嘉永六年八月)………569

433 荷物継立用に地車使用につき東海道二川・御油・赤坂・藤川四宿より願書(嘉永七年八月)………569

434 荷物継立に小車使用許可につき東海道二川・御油・藤川三宿より赤坂役所宛上申書(安政四年四月)………571

435 東海道赤坂宿にて伝馬役車請負いにつき一札(慶応三年十二月)………572

436 東海道赤坂宿旅籠屋仲間による宿泊旅客振分け規定書(文化十三年正月)………573

437 大名諸家休泊料金値上げ案内書(慶応二年)………574

438 東海道赤坂宿奉公人身請金半額後払いにつき証文(文化八年三月)………574

細目次

450	宝飯郡前芝村加藤みゑによる関西方面への旅日記 〈文化八年三月〉……………	591
449	坂宿問屋より廻状へ慶応元年四月……………	590
448	長州征討軍等へ馬沓・草鞋を不当な値で売ることを禁する通達につき書状へ元治元年十月……………	590
447	長州征討軍へ馬沓・草鞋を不当な値で売ることを禁する通達につき書状へ天保六年六月……………	583
446	公用役人・諸大名通行時の横暴ぶり等につき東海道二川宿役人より答申書下書へ天保六年六月……………	581
446	朝鮮使節通行に際し東海道岡崎宿賄所へ提供すべき百十四か村の諸色書上帳へ延享五年……………	581
445	東海道二川宿旅籠屋へ盗賊侵入につき同宿より旗本諏訪家役人宛一札へ天保十年五月……………	580
444	東海道赤坂宿内の借家引払いにつき借請状返却の願書 〈嘉永二年四月〉……………	580
443	東海道赤坂宿内にて店借りにつき宝飯郡下千両村より村送り一札へ文政十一年八月……………	579
442	東海道赤坂宿伝馬屋敷譲渡し証文へ安政四年七月……………	578
441	宿方貸金証書提出仰せ付けにつき東海道赤坂宿元問屋俵より赤坂役所宛願書下書へ慶応四年八月……………	576
440	東海道御油宿飯売奉公人の赤坂宿への鞍替え証文 〈文化十三年十一月〉……………	576
439	東海道赤坂宿の飯盛奉公人請状へ文化十二年十月……………	575
438	江州多賀大社参詣につき設楽郡西杉山村庄屋より新城菅沼家役所宛願書へ天保十四年八月……………	597
437	信州善光寺参詣につき設楽郡西杉山村庄屋より新城菅沼家役所宛願書へ弘化四年三月……………	598
436	讚州金毘羅山参詣につき設楽郡西杉山村庄屋より新城菅沼家役所宛願書へ安政七年三月……………	598
435	設楽郡西杉山村在住の父娘讚州金毘羅山へ参詣につき往来手形へ安政四年十二月……………	599
434	三 鳳来寺道・秋葉道とその利用	
433	鳳来寺祭礼中は参詣禁止の旨新城領内触書へ享保五年十月……………	599
432	八名郡大野村所持の助人馬廻状返却につき同郡乗本村ほか九か村より願書へ明和九年二月……………	600
431	浜松藩主鳳来寺参詣に八名郡大野村への助人馬御免につき同郡井代村ほかより願書へ明和九年二月……………	602
430	秋葉道で活躍する女性交通労働者の記述へ寛政九年……………	603
429	鳳来寺より秋葉山への途次足痛の旅人継立送り状 〈文政十二年十二月〉……………	604
428	秋葉山参詣・伊勢参宮途中に東海道二川宿近辺で死去した旅人の死骸引渡し願書へ嘉永五年二月……………	604
427	第三節 内陸運輸の展開	
426	一 中馬・三州馬稼ぎ	
425	茶荷物付け通しのための訴願路用費捻出方法に関する取り替わし一札へ安永五年十一月……………	606
424	新城町への通用道筋に関する設楽郡山村より同郡白子村宛一札へ享和二年十一月……………	607

463	三州馬を信州馬と同等条件で稼働できることを請う願書下書 〈文政三年五月〉……………	607
464	三州馬稼ぎに関する設楽郡田口町村ほか五か村より出訴一件 濟口証文写〈天保十二年六月〉……………	610
	二 横行する抜け荷	
465	東上分一番所を抜け荷して内済につき八名郡小畑村荷主等より一札〈文化九年七月〉……………	614
466	東上分一番所を抜け荷した中馬稼ぎの馬預かりにつき設楽郡設楽村馬宿より一札〈文政六年十一月〉……………	615
467	東上分一番所抜け荷内済許可の信州大野村馬士より詫証文 〈文政六年十二月〉……………	615
468	設楽郡池場村ほか二か村の駄賃稼ぎ四人による他人荷物売却一件 濟口証文〈天保二年九月〉……………	616
469	遠州へ禁制の塩駄送につき八名郡山吉田六三郎より詫証文控 〈天保十二年六月〉……………	617
第十章 寺院と神社		
第一節 寺社の運営と維持		
一 寺社の組織		
470	知多郡緒川村乾坤院三派門中輪番につき宝飯郡萩村龍源寺等より訴状〈寛文七年六月〉……………	620
471	遠州金剛寺が門首を名乗ることにつき宝飯郡伊奈村東漸寺より返答書〈貞享二年八月〉……………	621
472	遠州摩訶耶寺は本山では無い旨渥美郡長仙寺村長仙寺より返答書〈延宝八年八月〉……………	624
473	渥美郡畠村栖了院の本寺替え願いにつき同村より口上書 〈宝永七年八月〉……………	625
474	渥美郡畠村栖了院の本寺替えにつき同村名主・檀方等連判請書〈宝永七年閏八月〉……………	626
475	暇を取り山を退くことにつき設楽郡風来寺中谷坊等より断りの口上書〈元禄九年十一月〉……………	627
476	神祇伯家より宝飯郡森村天王社神主佐竹刑部宛継目許状 〈天明三年九月〉……………	628
477	三山奉行若王子より円行院宛院号補任状〈天明五年六月〉……………	628
478	神祇伯家雑掌より宝飯郡森村牛頭天王神主佐竹刑部宛装束免許状〈天明七年六月〉……………	629
479	継目許状につき白川家雑掌小森等より宝飯郡森村佐竹刑部宛書状〈天明七年九月〉……………	629
480	神拝伝授につき八名郡賀茂村星野与惣兵衛より神祇伯門人佐竹刑部宛誓約書〈寛政五年六月〉……………	630
481	神祇管領長上吉田家より宝飯郡森村牛頭天王神主佐竹刑部宛神道裁許状〈文化十三年四月〉……………	630
482	渥美郡牟呂村天王社菰敷太郎左衛門一件につき吉田藩役人宛証文〈天明三年三月〉……………	630
483	渥美郡牟呂村天王社菰敷の装束につき一札〈寛政九年七月〉……………	633
484	渥美郡牟呂村神主森田内蔵継目許状取得につき覚書 〈天保十四年三月から〉……………	633
二 寺社の相続と経営		
485	渥美郡市場村神明社一件につき同郡神戸郷神領控等より返答書〈元禄四年五月〉……………	641
486	無住の際は名主代印をしない旨設楽郡須山村より同村善福寺	

細目次

487	宛書付〈安永六年三月〉……………	643
488	宝飯郡東上村東京寺寺号讓渡につき同村妙劉寺より渥美郡野田村武左衛門宛証文〈安永六年十二月〉……………	644
489	寺庵施主等につき渥美郡野田村浄遠より一札〈天明四年五月〉……………	644
490	神職差障り出入り一件につき設楽郡粟代村八幡宮神主訴状下書〈文化八年五月〉……………	645
491	設楽郡田峯村禰宜相統につき一札〈天保二年八月〉……………	646
492	設楽郡須山村善福寺と同郡鴨ヶ谷村甘泉寺との庚申塔供養争論済口証文〈嘉永三年七月〉……………	647
493	神職と庄屋役兼帯につき宝飯郡森村庄屋清九郎より届書 <small>〈慶応四年六月〉……………</small>	649
494	秋葉権現造営につき設楽郡東杉山村万福寺より願書 <small>〈宝曆九年四月〉……………</small>	649
495	宝飯郡森村氏神社内秋葉社造立ならびに遷宮入用帳 <small>〈明和六年九月〉……………</small>	650
496	託宣により風森山太郎皇権現へ土地寄附につき設楽郡徳定村ほか八町村より一札写〈天明六年正月〉……………	653
497	東観音寺塑像に使用した土の由来書〈文化十一年五月〉……………	653
498	渥美郡牟呂村八幡宮祭礼における児神楽再興につき願書 <small>〈文政八年八月〉……………</small>	654
499	神楽次第伝授につき渥美郡牟呂村八幡宮神主森田讃岐より城内神宮神主宛誓約書〈文政八年八月〉……………	654
500	神祇管領長上家公文所より渥美郡牟呂村八幡宮祭礼時の仮神子神楽装束免許状〈文政八年八月〉……………	654
501	渥美郡高塚村氏神へ神事祭礼料寄附につき旗本戸田家役所より下知書〈嘉永七年三月〉……………	655
502	渥美郡牟呂村八幡宮の神木売り払いのところ買戻し寄進につき一札〈寛延元年九月〉……………	655
503	社内杉木伐採迷惑につき設楽郡大和田村より海老菅沼家役所宛願書〈嘉永六年七月〉……………	656
504	新城町鉦屋貸付の東叡山祠堂令旨金名目の金子返済方につき添証文〈宝曆十二年九月〉……………	657
505	設楽郡下田村より東叡山令旨金借用証文〈天保六年十一月〉……………	658
506	風来寺拝借金返済し詰りにつき組合畑高書入れ一札 <small>〈天保十二年十二月〉……………</small>	659
507	第二節 地域社会と寺社	
508	一 寺社をめぐる争論と事件	
509	宝飯郡長山村松源院離檀につき同村藤左衛門より二川役所宛願書〈享保十一年二月〉……………	660
510	徒党離檀出入りにつき宝飯郡長山村より返答書 <small>〈享保十一年九月〉……………</small>	662
511	徒党離檀出入りにつき宝飯郡長山村より返答書 <small>〈享保十一年十月〉……………</small>	666
512	設楽郡老平村桂昌院より離檀願い一件につき同郡菟鹿島村ほかと小谷下村内済証文〈明和六年三月〉……………	668
513	檀家内で浄土真宗の風規を行う者共の吟味につき設楽郡上津具村金龍寺より上申書下書〈寛政年間〉……………	670
514	神事祭礼不参につき設楽郡池場村惣三郎より託証文 <small>〈享保六年十一月〉……………</small>	674
515	賭けの諸勝負宿をしたことにつき宝飯郡長山村安盛院より託証文〈寛保二年十月〉……………	674

526	怪道邪気を封じたことにつき吉田家三州掛り役より設楽郡島	684			
525	疫病流行のため神事祭礼執行につき設楽郡田峯村より願書 〈天保十五年八月〉……	684			
524	疫神祓につき設楽郡檜谷下村禰宜本宮之太夫より説証文 〈宝暦六年十一月〉……	683			
523	宝飯郡三蔵子村神子より八名郡橋尾村惣氏子宛神口覚 〈未四月〉……	683			
522	易道伝授につき京梅尾より小川大膳正宛一札〈文久二年〉……	682			
521	父の八卦占につき設楽郡笠井島村清十より説証文下書 〈万延元年十二月〉……	682			
520	富士山別当大鏡坊より設楽郡粟代村丸山幸助宛富士山先達房 号免許告文〈天保四年六月〉……	681			
519	富士山幸助宛免許状〈天保四年六月〉……	680			
518	設楽郡栗世村豊吉新屋敷への募移転を高野山金光院代僧に依 頼につき説証文〈文政三年四月〉……	680			
517	人相監察法伝授につき新城町鈴木吉左衛門より義山宛誓約書 〈安永七年九月〉……	679			
516	設楽郡下津具村神事舞太夫抱え神社書上〈正徳四年三月〉……	679			
515	東観音寺開山法要に際し寺領百姓赦免につき願書 〈嘉永二年三月〉……	678			
514	八名郡橋尾村東光寺施餓鬼水向座一件裁許書写 〈宝暦六年五月〉……	678			
513	下人が賭けの諸勝負をしたことにつき宝飯郡長山村慶住寺よ り説証文〈寛保二年十月〉……	675			
528	狐去り困難につき光岡弥五右衛門より森田肥後守宛書状 〈四月〉……	687			
527	田村宛申達書〈寅三月〉……	686			
527	氏子親類狐憑きのため祈禱願いにつき宝飯郡森村佐竹伊予よ り森田肥後守宛書状〈正月〉……	686			
529	設楽郡西杉山村天神宮宮座村人席願覚書〈元和六年三月〉……	690			
530	庄屋役不当取上げ一件につき八名郡能登瀬村五郎助より赤坂 役所宛願書控〈享和三年正月〉……	691			
531	分付百姓跡式相続につき設楽郡池場村治兵衛家譜代勘助より 地親宛請書〈宝暦八年十月〉……	693			
532	宝飯郡東上村浅若延愈遺言書〈文政六年正月〉……	693			
533	跡式相続人の約束につき設楽郡上津具村しなより下津具村万 次郎宛証文〈安政四年八月〉……	696			
534	新門立てにつき設楽郡西杉山村より新城菅沼家役所宛願書 〈慶応三年四月〉……	697			
535	三人々の生涯 渥美郡宇津江村榊原与七産着・髪置き等祝儀覚帳(抄) 〈天保五年十一月から同十二年正月〉……	698			
536	渥美郡宇津江村若者掟書写〈嘉永五年正月〉……	702			
537	宝飯郡赤坂宿村田家婚禮膳献立書〈安政四年九月〉……	703			
529	第一章 人々の暮らしと社会 第一節 家と暮らし 一家格と由緒				

細目次

548	宛願書写〈元文四年九月〉………	728
	手余り地・荒地の年貢弁納困難につき設楽郡田峯村より奉行所宛駆込み訴状控〈天明五年正月〉………	729
547	畑方損毛引方につき渥美郡上四か村より代官永井孫次郎役所宛願書写〈元文四年九月〉………	728
546	非人番取締頭取立て方につき設楽郡村々より赤坂役所宛願書控〈天保十四年三月〉………	724
545	盗賊・悪党など捕り押さえ方につき番非人より設楽郡川手村村役人宛請書〈天保四年十二月〉………	724
544	願書〈文政四年二月〉………	722
543	二 差別を受ける人々と村の安全 普大寺虚無僧吹笛留仕切料につき渥美郡畠村名主権左衛門寛書〈文久二年九月〉………	721
542	新城町に座頭配當場新設につき同町庄屋より十一か村宛廻状 〈元治元年十一月〉………	720
541	一 村を訪れる宗教者や芸能者たち 設楽郡東杉山村諸勸化奉加取替え覚帳〈抄〉〈文政六年〉………	716
539	四 暮らしの記録 八名郡乗本村菅沼家統用日記〈抄〉〈文久二年正月・二月〉………	707
538	新城町三原屋松山遺言書〈宝暦十年〉………	704
537	宝飯郡西方村山本家香奠帳〈抄〉〈慶応四年七月〉………	705
549	設楽郡奈根村安永九年から寛政元年の家数・人数書上帳 〈寛政元年〉………	730
550	百姓相続金五百両拝借につき設楽郡組合八か村より赤坂役所宛願書下書〈天保五年二月〉………	732
551	餓死・退転の百姓多く年貢上納困難につき設楽郡道具津村より海老役所宛願書〈天保八年十月〉………	734
552	二 民衆のたたかい 海老菅沼家知行所支配を新城菅沼家預かりにつき村々請書控 〈嘉永六年十一月〉………	735
553	御用金・海老陣屋休陣等四か条につき海老菅沼家知行所村々より新城役人宛願書控〈嘉永七年正月〉………	738
554	海老陣屋役人への疑義等につき海老菅沼家支配三組惣代より新城役所宛口上書控〈嘉永七年正月〉………	739
555	新城町で騒動の小前百姓宥免につき海老菅沼家知行所村々より新城役所宛嘆願書控〈嘉永七年正月〉………	741
556	海老菅沼家督相続・陣屋休陣につき海老役所より八名郡下吉田村ほか宛廻状写〈嘉永七年閏七月〉………	741
557	三 幕末期の諸情勢 兵士七名差出しにつき海老菅沼家知行所村々より地頭役所宛請書控〈文久三年正月〉………	742
558	悪徒防ぎ方につき設楽・八名両郡幕領村々何書ならびに議定書控〈文久三年十一月〉………	744
559	長州征討につき設楽郡作手組十五か村より東海道御油宿助郷惣代宛当分助郷請書〈慶応元年五月〉………	746
560	渥美郡畠村名主万附留日記〈大砲江戸積み下しにつき抄録〉 〈慶応三年九月〉………	747

573	池坊流立花伝授者名簿〈寛政五年〉 (抄)……………	778 777
572	享保年中以来尾張・三河・遠江・駿河池坊流立花門弟名簿 を追悼した和歌等十首……………	775
571	渥美郡亀山村在住の磯丸が近在の歌人・国学者井本彦馬の子 『磯丸翁和歌由来』(抄)〈万延二年正月〉……………	773 770
569	吉田町連句会出席者・投句者人名録〈文久二年十二月〉……………	767
568	吉田町俳人佐野蓬宇主催連句会の題・出席者人数・出席者名 等書上〈文久二年〉……………	765
567	三河吉田連衆芭蕉百回忌追悼俳諧集『松葉塚』(抄) 〈寛政五年〉……………	765
566	二 俳諧・和歌・立花	
565	吉田町国学者中山美石著『孝女まつ伝』(抄)〈享和元年四月〉……………	764 760
564	設楽郡池場村百姓宛天神真揚流柔術免許状〈弘化二年六月〉……………	760 758
563	設楽郡道具津村の農作物名や近隣の村名などを中心にした手 習い教本〈元治二年二月〉……………	758
一 教育と習練		
第十二章 地域に根ざす文化		
第一節 庶民の教育と教養		
562	設楽郡下津具村医者山崎讓平日知録(抄)〈慶応三年九月〉……………	754 748
561	渥美郡畠村名主万附留日記(御札降りにつき抄録) 〈慶応三年八月・九月〉……………	748
四 ええじゃないか		
574	設楽郡樫谷下村神楽次第〈明暦二年十二月〉……………	779
575	花神楽秘法伝授につき設楽郡樫谷下村亀次郎等より同郡小谷 下村主水等宛一札〈宝暦七年十一月〉……………	781
576	鳳来寺田楽帳(抄)……………	782
577	設楽郡粟代村神事祭礼出費節減ほか質素節約等申し合わせ一 札〈慶応元年六月〉……………	785
578	二 能楽と村芝居 上演者病氣等のため新城町祭礼能休演願書添書下書 ……………	786
579	喜多流門入・脇能免許につき新城町鈴木文平より喜多七大夫 宛札状〈安永六年正月〉……………	787
580	渥美郡今方村若者組上演の芝居演目・配役・衣装附賞帳 ……………	788
581	三 花火 花火製造小屋地面貸与につき設楽郡下田村若者連中宛取り替 わし一札下書〈嘉永六年五月〉……………	790
582	花火調合法留書……………	791
第三節 民間の医療・薬方		
一 民間の医療		
583	廻村者への宿貸しと灸治療依頼につき渥美郡上野田市場村よ り田原藩役人宛届書〈享保十五年六月〉……………	792
584	設楽郡上津具村流行病患者数等書上帳〈安永二年五月〉……………	793

